

日	月	火	水	木	金	土
	1 休	2 3歳児健診	3 工作委员会 10:30~12:00	4 ☺	5 手芸部 10:00~12:00 ココめ〜る編集会議 13:30~15:00 4か月児健診	6 どろっぶデー どろっぶは閉館
7 休	8 休	9 ボランティア交流会	10 パン ♥母乳相談	11 ☺ ★1歳6か月児健診	12 ☺ 4か月児健診	13
14 休	15 休	16 としょがかり 10:30~12:00 3歳児健診	17 土いじりの会 10:00~12:00 ♥母乳相談	18 ☺ ★1歳6か月児健診	19 ☺ こほくnetほいっぷ	20
21 休	22 休	23 BOSAくらぶ 13:00~14:30 3歳児健診	24 MSC 10:00~12:00 うたいたい 13:30~14:30 ♥母乳相談	25 ☺ ★1歳6か月児健診	26 ☺ 4か月児健診	27
28 休	29 休	30 ☺	手芸部・工作委员会・土いじりの会・うたいたい・としょがかり MSC(多文化共生サポートクラブ)・BOSAくらぶ ***どろっぶ利用者の自主活動です*** 利用者の皆さんが主体となって活動しています。 どなたでも気軽にご参加ください。 (時間帯はカレンダー内でご確認ください)			

※福祉保健センターでの健診日は混雑が予想されます。
※当日の予約制プログラム時間内は、予約された方を優先させていただきます。尚、6月17日(水)の午後は予約制の講座を開催するために、混雑が予想されます。ご了承下さい。

港北区福祉保健センターで行う健診

- 4か月児健診……(受付) 8:45~9:30
- ★1歳6か月児健診……(受付) 8:45~9:30
- ◆3歳児健診……(受付) 12:45~13:30
- ♥母乳相談……電話でご予約ください。

健診・母乳相談についての問合せは…
港北区福祉保健センター子ども家庭支援課
045-540-2340

どろっぶの相談日
個別相談の予約ができます。

- 2日(木) 9:30~12:30 榎田 紋子
- 12日(金) 10:00~12:00 大豆生田 千夏
- 19日(金) 10:00~12:00 大豆生田 千夏
- 20日(土) 10:00~12:00 藤井 和枝
- 23日(火) 9:30~12:30 榎田 紋子
- 26日(金) 10:00~12:00 大豆生田 千夏

大倉山近辺の公園遊び

- 太尾公園つちのこプレイパーク (太尾公園)
12日(金) & 26日(金) 10:30~16:30
- おひさまたんけんたい(太尾町第二公園)
16日(火) 10:30~11:30
どろっぶ「としょがかり」が読み聞かせにいきます。

- 急病のときは
横浜市救急医療情報・相談ダイヤル ☎#7499 一部回線からは☎227-749/救急医療情報センター(24時間年中無休) ☎201-1199
- たばこや家庭用化学製品の誤飲による相談 神奈川県医師会中毒情報相談室 ☎262-4199
- 休日救急 港北区休日急患診療所 小児科・内科(病名4-4-22) ☎433-2311
- 子どもの虐待の通報や相談 よこはま子ども虐待ホットライン(24時間) ☎0120-805-240

プログラム

- ノーバディーズパーフェクト講座(予約制) 4日・11日・18日・25日
すでに定員に達しています。
- ふたごちゃん・みつごちゃんの会 10日(水) 10:00~12:30
多胎児ならではのおしゃべりをしながら過ごしましょう。お昼も一緒にどうぞ
- ふらっとサロン@どろっぶ 12日(金) 10:30~11:40
1階ひろばで子どもを遊ばせながらちょっと集まっている話してみませんか。
テーマはひろばで募集しています。
- 親子ボランティア企画 親子カフェおかあ茶ん 19日(金) 14:00頃~
親子ボランティア企画のかき氷とおしゃべりタイム。親子で楽しもう!
- プレママカフェ 30日(火) 10:30~12:00
先輩ママとして親子(できれば0才児)で参加してくれる方を募集しています。

どろっぶパワの集い 6月はお休み
次回 7月18日(土) 13:30~15:00
8/1(土) 流しソーメンの打合せをします。

くるみさろん(要予約) 25日(木) 10:30~12:00
母乳やミルクのことなど気になっていることを、助産師、先輩ママ、みんなまで話してみませんか?
6/16(火) 10:00~予約開始

「地域活動支援センターいろえんぴつ」のパン販売
10日(水) 12:00~12:30
売り切れ次第終了です。

あっと
at どろっぶ
6 jun
vol. 106
発行日 2015.6.1

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。新制度では、法律に基づき、実施主体である各市町村が5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を策定しました。横浜市では「横浜市子ども・子育て支援事業計画」~子ども、みんなが主役!よこはまわくわくプラン~として、市のHPでも5月1日に公開されました。

横浜市子ども・子育て支援事業計画 で検索

この計画が作られるまでは、子育て中の市民を対象にアンケートを抽出実施していたので、答え方もいろいろのことと思います。アンケート結果からは「家庭で子育てをしていますが、保護者の病気やけが、育児疲れによるレスパイト(休息、息抜き)など、一時的にこどもを預けたいと思う」「日常的に子どもを預かってもらえる親族や知人がいるという人」は27.4%にとどまり、緊急時でも預けられる親族や知人がいない人は16.6%と明らかになっています。一時的に預かれる場の充実が求められていることを、横浜市の課題として計画に明記されました。4月から入所された方は新生活が少し落ち着いてきたこの時期に、「急な残業や出張等で送迎サポートが必要」だったり、子どもが病気になる時の対応だったり、新たな困りごとに直面されている方もいると思います。現在、港北区内の一時預かりの場所や相談窓口として、どのようなところがあるのか、ということをご紹介したいと思います。

区内の一時預かり
ちょっと預かってもらいたい時に……

- 認可保育所一時保育
一定の要件により認可保育所にて保育所に在籍していない未就学児をお預かりする制度です。港北区内では現在45園!
- 乳幼児一時預かり事業 理由を問わず、生後57日以上から就学前のお子さんをお預かりします。(港北区内は3か所)
☆くじら保育園(下田町) 電話:562-6718
☆港北子育て支援ワークスコレクティブココット(日吉5丁目) 電話:565-0322
☆託児室あいあい(篠原西町) 電話:402-3612
- 横浜市病児保育事業・・・医療機関併設型病児保育室でやむを得ない事情で家庭での保育が困難な時に一時的に保育する事業です。(区内は2か所)
☆おおそねクリニック 電話:718-6730
☆シバチャイルドクリニック「くりっこ病児保育室」 電話:542-6941
- 親と子のつどいの広場一時預かり
普段から広場を利用している方を対象に短時間の一時預かりをしています。(港北区内は1か所)
☆おやこの広場 びーのびーの(篠原北) 電話:439-7447
- 横浜市私立幼稚園等預かり保育
横浜市が認定した幼稚園・認定こども園に在園している園児対象です。港北区内は7園。チラシはどろっぶにあります。

●港北区福祉保健センターからのお知らせ●
保育コンシェルジュに相談してみませんか?

「家のそばにはどんな預け先があるのかな?」「港北区は激戦区と聞いたらけど……?」「用事があって子どもを見てもらいたいときは?」などといった悩みに直面した方は「保育・教育コンシェルジュ」の「コンシェルジュ専用窓口」にご相談下さい!

保育・教育コンシェルジュってなあに?
保育・教育コンシェルジュは、就学前のお子さんの預け先に関する保護者の相談に応じ、認可保育所のほか、横浜保育室や一時預かり事業、幼稚園預かり保育などの保育サービス等についての情報を提供しています。

「コンシェルジュ専用窓口」ではどんな相談ができるの?
保育を希望される保護者の方の相談に応じ、個別のニーズに合った保育サービス等の情報提供を行います。

予約しないといけないの?
「コンシェルジュ専用窓口」は1人30分の事前予約制のため、相談時間が確保されます。他に、保育担当窓口では日頃からの保育所利用についてのご相談を受けていますので、お気軽にこ来所またはお電話下さい。

- 場所:港北区役所子ども家庭支援課保育担当窓口(14-1)
- 実施日時:毎月第一・三水曜日9:00-12:00/13:00-16:00 1人30分まで(10、11、2月はお休み)
- 予約方法:＜事前予約＞が必要。電話または窓口にて「コンシェルジュ専用窓口の予約」と伝えて下さい。前月の1日から予約受付を開始します。
- 電話番号:045-540-2337
- 対象の方:就学前のお子さまの預け先を探している方など

港北区地域子育て支援拠点
「どろっぶ」

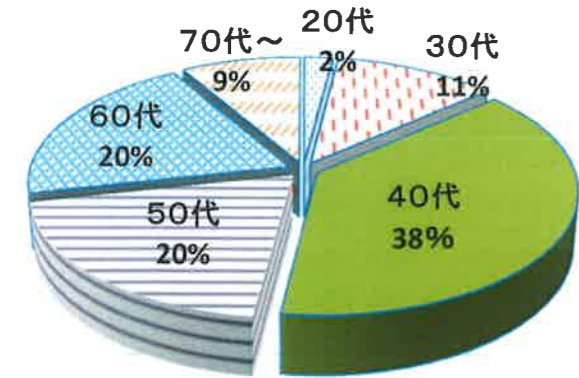
【住所】〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3
【TEL】045-540-7420 【FAX】045-540-7421
【URL】http://www.kohoku-drop.com
【開館時間】火曜日~土曜日 9:30~16:00
【休館日】日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
【利用料・登録料】無料

横浜市子育てサポートシステム港北支部事務局
【TEL】045-547-6422(直通) 【FAX】045-540-7421
【受付時間】月曜日~土曜日 9:00~17:00

【アクセス】東急東横線大倉山駅徒歩10分
市バス41系統「観音前」下車
(各駅停車のみ停車。大倉山駅改札を出て右手、エルム通り商店街をお進みください。駐車場はございません。)

子育てサポートシステム

とは、ご近所で子どもを預けたり預かったりする地域ぐるみでの子育て支援です。預ける方、預かってくださる方それぞれが会員登録しお互いの信頼関係のもとで活動しています。活動内容としては、双方の家の預かり、保育所や学童、習い事の送迎、拠点や子育てひろばでの預かり等です。預けたい方も預かってみたい方もまずは入会説明会（予約制）に参加してから、実際の活動となります。提供会員（＝預かる方）には3日間の研修があります。研修を受けたとしても「実際に預かれるかしら？」という不安もあるでしょうが、そこはコーディネーターが事前の打ち合わせからしっかりとサポートしますので、ご安心下さい。以下に「データから見える子サポ」並びに、それをコーディネートするスタッフを紹介します。



提供会員の年齢層は様々ですが、自分の都合のつく時間が比較的多いと思われる「40～50歳代」が半数を占め、ついで「60歳代」が20%となっています。子育て卒業世代が、現在子育て真っ最中の会員をサポートしている様子がみられます。

共通していることは「子ども好き」だったり「誰かのために何かに役立ちたい」という気持ちを持たれているようです。

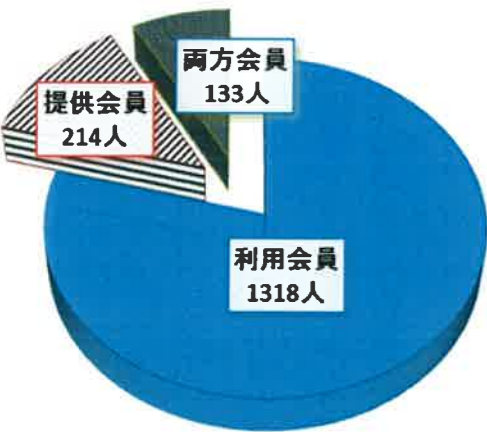
グラフからも、実に多様な世代が子育てに関わっているということがわかります。この預け・預かり合うシステムを通して、普段出会うことのない方と知り合いになれば、親子ともども地域や人と交流し、豊かな体験をできる機会にもなります。

この数を見ると「提供会員がこんなに少なくは、預けるのは無理では？」と思われるかもしれません。

港北区は、新規コーディネート数は月平均30件、活動件数は一か月約750件と、フル稼働しています。214名の提供会員が「子育て中の家庭を応援したい」という気持ちをもって、自分の時間をやりくりして下さっていること、133名の両方会員が「我が子と一緒に子育てをしていければ」という思いを持って関わって下さっていること、この双方があって、日々頑張っています。

提供・両方会員は年に1回のフォロー研修（市社協）のほか、どろっぴでも、保育スタッフ研修への参加や子育て支援者メーリングリストへの登録をお勧めするほか、会員交流会を（年に2回）開催をして、交流を深めるなど、研鑽をつむ機会を設けており、充実したフォローアップで活動をサポートしています。

どろっぴひろばで預かる「お試し保育」も予定していますので、まだ預けたことのない方はぜひ一度利用してみたいか？詳しいスケジュールはどろっぴひろばもしくは子サポのホームページに記載してあります。



子育てサポートシステムコーディネーター紹介

港北区支部事務局には5名のコーディネーターがいて、利用会員からの活動依頼に対応しています。この4月から1名スタッフが増え、全員で5名となりました。この5名で、ガッツリとコーディネート頑張ります！どうぞよろしくお願い致します。



●自己紹介●

井門 有子 (いど ゆうこ)

どろっぴとの「ご縁」、利用・提供会員との「ご縁」・・・数多くの良き「ご縁」を作れるように頑張ります。

子どもの頃になりたかったものは「女忍者」（くのいち）！

子育てサポートシステム説明会（要予約）子サポ専用電話045-547-6422

説明会開催日の1か月前の9：30～予約受付となります。

（どろっぴ受付もしくは電話にて）

1か月前が休日の場合は、翌業務日が予約受付開始日となりますのでご注意ください。

7月日程（定員：8名）		予約開始日
3日（金）	10：30～11：30	6/3（水）
11日（土）	14：00～15：00	6/11（木）
14日（火）	14：00～15：00	6/15（月）
22日（水）	14：00～15：00	6/22（月）

提供会員募集

お住いの地域の子育てに参加してみませんか。

ご自身の生活の中で、時間に余裕のある方、子育てが一段落された方、ぜひ、提供会員（＝子どもを預かる）として活動してみませんか。まずは入会説明会に参加。その後「子育て支援に関わりたい！」と思われたら、3日間の研修受講を経て、提供会員として活動できます。

すでに利用会員として登録されている方も、研修を受けることで、両方会員に変更できます。ご近所やお知り合いで提供会員として活動できる方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

上記グラフからもわかる通り、70代の方も大活躍しています！お待ちしております。

城郷小机地区で出張説明会を開催します

- 日時：7月4日（土）14：00～15：00（予約制）
- 場所：城郷小机地域ケアプラザ多目的ルーム（小机町2484-4）6/15（月）10:00～受付開始です。



どろっぴからののお知らせ＆ご案内



港北区の第一子の赤ちゃんとおかあさんへ ～はじめの一步 赤ちゃんをつくる私の家族～

お子さんのお誕生おめでとうございます！自分のお腹にいた赤ちゃんとのご対面はいかがでしたか？そして子育てで忙しくなった、ご自身の産後の体調はいかがですか？ スタートしたばかりの子育てを応援するために、どろっぴで連続講座を開催します。皆さんがゆったりできる場を用意して待っています。（できれば4回連続でご参加下さい）

- 日時：7月7日・14日・21日 8月25日 全て火曜日 時間10:30～12:00
- 対象：平成27年3～5月が誕生月の第一子赤ちゃんのいる港北区にお住まいの親子
- 定員：先着15組（要予約） ●場所：どろっぴ2階研修室
- 講座担当：どろっぴ相談員 伊志嶺美津子
- 申込開始：6月16日（火）10:00～ どろっぴ受付もしくはTELにて（要申込用紙提出）

P35（パパサンゴ）企画 家庭でも職場でも話せない子育てのコト パパ同士で話してみませんか？ 子育てパパの井戸端カフェ パパトーク （港北区地域のチカラ応援事業）

「家事分担やりリフレッシュはどうしてる？」
「子育てと仕事の両立はどうしてる？」などなど
普段職場や友達に言いたくないけどなかなか言えない、そんなパパ達の参加をお待ちしています。
ウチの子自慢や夫婦のお悩み相談何でもOK！
近所にパパの知り合いが欲しい！という方も大歓迎！

- 日時：7月5日（日）10：00～12：00
- 場所：横浜市新羽地域ケアプラザ（新羽町1240-1）
- 対象：未就学の子もがいる父親（フルタイムOK！）
- 定員：20名（要事前予約） ●参加費：無料
- 問い合わせ：横浜市新羽地域ケアプラザ（担当：天野）
TEL：045-542-7207
- 主催：P35（パパサンゴ）

パパと遊ぼう！2015 パパと一緒にのおはなし会

腹話術とパネルシアター&簡単手作りおもちゃで、パパの日をお子さんと一緒に楽しく遊びましょう！

※同時開催の「ママのティータイム」（要、別途申込200円）あります。

- 日時：6月21日（日）9：45（受付）～11：30
- 場所：城郷小机地域ケアプラザ多目的ホール
- 対象：小机・鳥山・岸根町在住の未就園児（目安：満1～3才児）と、そのパパ
- 協力：キャサリン野村氏（腹話術師協会会員）・鈴木きみ代氏（おもちゃコンサルタント）
- 定員：15組（先着順） ●参加費：無料
- 問い合わせ：横浜名城郷小机地域ケアプラザ（担当：大神田）
TEL：045-478-1133
- 主催：城郷小机地域ケアプラザ

どろっぴデー2015 in ふとお



大倉山地区社会福祉協議会の、ご協力をいただき開催される毎年恒例のイベントです。地域の町内会からの模擬店出店ほか、どろっぴ部活動、ボランティアブース、P35（パパサンゴ）、地域で様々な活動がされている団体も出店予定です。

尚、どろっぴデー当日は、どろっぴは閉館となります。

- 日時：6月6日（土）10:30～14:00
- 雨天時は縮小開催
- 当日朝7時の段階でなんらかの警報が出たら中止。
- 場所：太尾防犯拠点センター（大倉山4-5-4）

お月さまってどんなあじ？

絵と文/マイケル・グレイニエツ



お月さまってどんなあじなんだろう。甘いのかな？しょっぱいかな？地上から動物たちが毎晩、お月さまをみながら考えています。ある日、小さなカメが決心して、お月さまをかじろうと、山を登ります。カメだけでは届かず、ソウを呼び、キリンを呼び。。。お月さまは楽しむかのように、ひょいと逃げます。さて、お月さまをかじることはできるかな？
子どもの大好きな、繰り返し読める絵本です。夜、月をみながら寝る前の読み聞かせにどうぞ。（とよがかりNさん）

どろっぴの風景

赤いのは？黒いのは？

毎年、この時期になると受付前の桑の木に実がなります。昨年、Cちゃんは「赤い実は酸っぱいけれど、黒いのは食べられるよ。甘いんだよ」とひろばサポーターのRさんに教えてもらい、口の周りを赤く塗って食べていました。その真っ赤な手をクロスしたり、マルを作っては「赤いのは～バツッ！」「黒いのは～マルッ！」と大人に教えてくれたりもしました。半年後に徐々に会った時「赤いのはどうだった？」と聞いたところ、ちょっと困った顔になったCちゃん。「えっと。えっと。忘れちゃった」と。そうか、だいぶ経っちゃったから、忘れちゃったね。今年もたわわになった桑の実が黒く熟してきました。一年前は、背が届かなかった子どもも自分で摘めるようになり、昨年のお月さまのように口の周りを真っ赤にしながらバクバクと食べて、「甘い」「すっぱい！」と言ったり、「これはバツッ！」「マルッ！」と教えてくれます。パパと遊びに来たCちゃんも桑の実を摘んだら思い出したのか「赤いのはバツッ！黒いのはマルだよ！」と、昨年より大きくなった手を動かしてはスタッフに教えてくれました。
子ども達の興味をかきたてるかのように実をつける桑の木。そのおかげで、子ども達のいろいろな姿に出会えます。初夏の実りに感謝感謝。（ひろばスタッフ山口）